

(4) 天敵・訪花昆虫

導入した昆虫の活動や受粉に適した温度を考慮し、栽培する作物の生育適温とバランスをとった温度管理を行う。

暖房温度を下げると、生育遅延により新しい花や花粉の量そのものが少なくなり、訪花昆虫が過剰に訪花して薬ごと採取したり、めしべに傷が付いたりすることで奇形果が増えやすくなるので注意する。

天敵・訪花昆虫の活動温度

区分	昆虫名	活動可能温度 (湿度)	活動適温	備考
天敵	ミヤコカブリダニ	12～35℃	25～32℃	
	チリカブリダニ	12～30℃ (>50%)	22～25℃	
	スワルスキーカブリダニ	15～35℃ (>60%)	28℃ (夜温 15℃以上推奨)	
	ククメリスカブリダニ	12～35℃ (>60%)	21～23℃	
	リモニカスカブリダニ	10～30℃ (60～90%)	20～30℃ (夜温 13℃以上推奨)	
	オンシツツヤコバチ	15～30℃	20～24℃	
	コレマンアブラバチ	5～30℃	20～24℃	
	タバコカスミカメ	18～35℃	25～30℃	
訪花 昆虫	マルハナバチ	6～30℃	17～28℃	
	ミツバチ	10～35℃	20～25℃	短命化に注意

(施設園芸ハンドブック追加)